

共生

奈良県生協連

1999年4月

NO.32

世界遺産登録の奈良をたずねて PART-4



がんごうじごくらくほう
＜元興寺極楽坊＞

558年蘇我馬子によって最初の仏教寺院として飛鳥の地に法興寺が建立され、その地名により飛鳥寺とも呼ばれたが、710年都が奈良に移るとともに新京に移されその名も元興寺と改められた。しかし、中世から近世にかけて火災によって多くの堂塔が焼失しその跡には民家が密集していった。今日世界遺産に登録された極楽坊は元興寺の一子院であったが浄土信仰が庶民の中に広がるにつれ庶民信仰の場として発展し、鎌倉期以降は地藏信仰・聖徳太子信仰や真言信仰などが入り交じり多くの民衆の信仰を集めた。

このお堂の屋根は行基葺きといわれ、創建当時百濟から派遣された瓦博士によって作られた日本最初の瓦がいまも数千枚が使用されている。また本堂の裏庭には鎌倉末期から江戸中期にかけて民衆が浄土往生を願って造立した2500余基の供養塔や石仏が並んでいる。明治の廃仏毀釈の嵐のなかで一時は無住の状態に陥りながらも破壊からまぬがれたのもこうした民衆との深い繋がりがあったからであろう。

新年度にむけて

21世紀に向かって「人間中心」の輪を広げよう

奈良県生活協同組合連合会

専務理事 瀧川 潔



1999年度が明けました。昨年度はなかなか経済状況の厳しい年度でしたが、今年度もまた厳しさは相変わらずのようです。それどころか、金融筋シंकタンクの予測では、「99年後半以降、景気は2番底を付けに行く展開」といわれております。

世界的な経済動向から見ても、私たちとしては、右肩上がりの経済成長に引きずられた対応や成長待望論とはきっぱりと「縁を切る」ことが、事業においても組合員の生活においても必要であることを、深く認識し直さねばならないとつくづく感じさせられます。

人間の欲望は限りのないものでもありますが、成長や発展というものをもっと本質的に考えてみるが必要になってきているのではないのでしょうか。「貨幣経済」という側面からのみ豊かさを追い求めるのではなく、人間が活動することによって生じる価値の増大を、心の豊かさを含め全て包含した、4次元経済とでもいうべき観点から、社会・世界を見つめ直す必要があるのではないかと考えます。

今日の世界の数々の矛盾、環境、福祉、平和、食糧、エネルギー、人間性の危機を考えると、これらの問題を解決するに当たって今見直されるべきことは、産業経済を動かしているのは人間であって資本ではないはず、ということでしょう。これについては、「資本」の非人間性にあやつられてはならないということ、あの産業革命の中から誕生した協同組合が見抜き、

「人間中心」を主張し、実践してきたということがあります。この「人間」を再度中心に据え、地球全体の共生を計っていくことの大切さを

再度認識し直すことが、あと645日ほど後に迫っている21世紀への展望を、私たちの手で切り開く原動力になるのではないかと感ずるところです。

21世紀の成熟社会は「自助、公助、共助」の「三元秩序体制」に移行するだろうと言われます（神戸大 野尻武敏先生）。20世紀に発達した経済による自助と公助の上に人間の協同による共助が発展すること、まさに協同組合の実践してきたそのことが、大きな社会的資産となって蓄積されていくことによって、21世紀の展望が切り拓かれて行くと考えます。

奈良県においても県連は全ての生協を結集して、少しずつながら協同の事業と運動を進め発展させてきました。しかし、まだまだ私たちの活動の中身が広く県民に理解されているとは言えません。昨年、生協法50周年記念の奈良県生協大会では、初めて県議会の厚生委員の諸先生のご参加を得ました。柿本県知事、大川奈良市長や行政の方々、また日本で最初の全県統一農協の偉業を成し遂げられた高田農業協同組合連合会会長のご参加やYMCA、青年団協議会、他多数の友誼団体のみなさんのご参加もありました。

奈良県生協連は、これからもいっそう地道な活動を続け、奈良県のオピニオンリーダーのみなさんに生協の活動をお伝えし、県民のみなさんとともに、21世紀に欠くことのできない「人間中心」と協同のこころを奈良県のすみずみに広げて行きたいと思っております。今後ともみなさんの暖かいご協力とご支援をよろしくお願い致します。

99年度のとりくみ

環境・平和・福祉活動等を推進する課題

- ・環境ボランティア団体との連係
- ・平和行進、「世界の都市で原爆展」の推進
- ・福祉ボランティア団体との連係

広報活動を強める課題

- ・生協連ニュース「共生」の充実
- ・ならコープ広報室との連係とマスコミへの働きかけ

各種団体との連係を強める課題

- ・日生協、他府県連、県内各種生協との連帯
- ・大学生協学生委員への支援
- ・協同組合、農山村との交流
- ・友好団体との協調した取組み
(YMCA、地婦連、青年団、福祉団体、環境団体、平和活動団体、国際親善団体、食に関わる団体)

消費者団体との連係した取組みを強める課題

- ・県下消費者団体、関西消費者団体連絡懇談会、全国消団連との連係
- ・ならコープくらしネットワークこむらいふとの連係

行政、政党及び各会派へ理解と協力を求める課題

- ・運動課題での行政窓口への働きかけ
- ・食の安全行政強化の働きかけ
- ・政党及び各会派との定期懇談会等の働きかけ

.....< も く じ >.....

新年度にむけて 2	平和 8	広がる協同・くらしの輪 13
99年度のとりくみ 3	福祉 9	つながる連帯・友好の輪 14
98年度 TOPICS 4	国際交流 10	県連日誌・お知らせ 16
環境 6	食と健康 12		

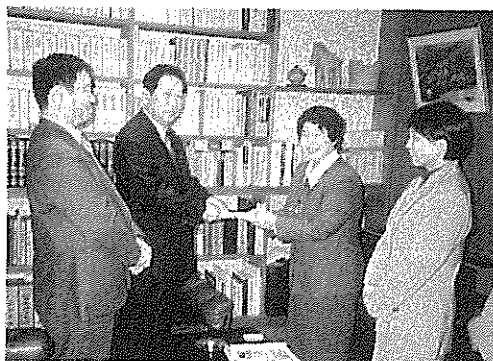
== 98年度TOPICS ==

災害時における「緊急物資供給協定」の締結

8月31日、県、ならコープと奈良県生協連の3者による「緊急物資供給協定」を締結しました。この協定は豪雨、洪水、地震、火災等により生じる被害を対象に県の要請により実施します。

台風7号被災者救援

9月22日、近畿地方を直撃し、県内各地に大きな被害をもたらした台風7号の被災者に対して、労済生協や、ならコープでは被災者救援に取り組みました。ならコープには組合員から281万円の募金が寄せられました。



榎五条市長へ贈呈

「被災者生活再建支援法」が成立

県内で240,890人分の署名を集めるなどの活動をしてきた県民会議（生協連加盟）は、5月の通常国会において、自然災害被災者に対する生活再建支援と、署名の趣旨である「住宅再建支援の検討」を約する条文が盛りこまれた『被災者生活再建支援法』が成立したことで、6月末に解散しました。

核実験に抗議！

インドとパキスタンが核実験を行ったことに対して、5月14日と5月30日には各首相あてに、また、10月7日にはアメリカの臨界前核実験に対し、大統領あてに抗議声明文を送りました。

98 奈良県市民平和行進

5月6日、東京夢の島を出発した'98市民平和行進は、6月26日～30日まで、梅雨の晴れ間の暑い中、県内各地を元気に歩きました。行進参加者は合わせて560名となりました。



県連トピックス

行政との協議会

▼近畿地区生協・行政合同会議

9月9日～10日、第10回近畿地区生協・行政合同会議が開催されました。厚生省、日生協、各会員生協からの報告の後、意見交換を行いました。

▼近畿農政局との懇談会

10月2日、近畿農政局と近畿生協連との第1回懇談会を開催し、生協連から14名が参加しました。近畿農政局それぞれの部・課からの報告と各県連からの活動報告を行いました。

▼生協・県行政協議会

10月8日、99年度奈良県予算への反映に向けて、福祉2、環境1、食の安全1、消費者保護1、役職員教育1、生協育成1の計7項目の要望書を提出しました。これら要望に対して、11月12日、共済会館やまにおいて98年度第2回生協・行政協議会を開催しました。

第6回協同組合デーのつどい

7月13日、農協会館において開催され、近畿農政局・企画調整室三好久男参事官から「食料・農業・農村基本問題調査会」の中間とりまとめや、ならコープ理事達による寸劇がありました。

第9回生協大会

10月31日、消費生活協同組合法制定50周年記念大会として開催しました。日生協の竹本成徳会長を招き「21世紀の生協運動」のテーマで講演を行ないました。組合員など約210名が法制定から50年の節目の年を祝いました。



竹本会長の講演



柿本奈良県知事のあいさつ

ひまわり号列車走る

10周年記念 ミステリー列車

11月3日、総勢465名の夢を乗せて第10回“ひまわり号列車”が走りました。ミステリー列車に乗り込んだ乗客は、目的地の琵琶湖で貸し切りのピアンカに乗船し、様々な企画に楽しい1日を過ごしました。



98

アースデースプリング in なら'98

4月19日、大和郡山市第一浄化センター自由広場において開催されました。大和川クリーン大行動に約800名の参加がありました。



環境サークルみみなしグループの人形劇

'98 ノーモア・ウォーのつどい

12月6日、Dコープいこまにおいて開催され、講演やアニメの上映、わかくさの会（奈良県原爆被害者の会）による原爆パネルの展示や、戦争当時の一般家庭の居間の再現等、戦争の悲惨さや当時の質素な暮らしぶりを体験しました。

環境

<環境マネジメント中間報告>



ならコープ職員全員で環境の取組みを進めています

ならコープでは98年度下期から、環境マネジメント監査制度の本格的な運用が開始されました。91年に環境基本政策を制定してから7年余、環境は生協の社会性に関わる問題として、真正面から取り組む必要があります。

これまで、ならコープではおもに組合員活動として、環境の取組みをすすめてきましたが、これからは、職員が自分の仕事の中で、自らの問題としてとらえる必要があります。

さしあたって98年度は、事業体として環境に与えている負荷の実態を把握するための仕組みを作ることと、その低減を目指して6つの課題を設けて、職員全員で取り組んでいます。

1. 省資源・省エネルギーをすすめました。

- ・室温の冷房（26℃以上）暖房（20℃以下）の徹底、蛍光灯の取り外し、パソコンの電源OFFなど、事業所の電気使用量の削減に取り組みました。
- ・LPGガス車、軽自動車、ハイブリッドカーの購入などで、事業に関わる車両の環境への負荷の削減に取り組みました。
- ・エネルギー管理集約シートを作成し、改善や工夫が見られましたが、前年実績以下という数値目標を達成する事は出来ませんでした。

	98年度下期	97年度下期	前年比
電気(kwh)	4,743,337	4,435,849	107%
水道(m³)	26,338	19,872	132%
ガス(m³)	15,827	15,434	102%
軽油(kg)	141,706	136,200	104%

- ・ならコープの事業所でのエネルギー使用及びゴミ廃棄に伴うCO₂排出量及び、リサイクルなどによるその削減量

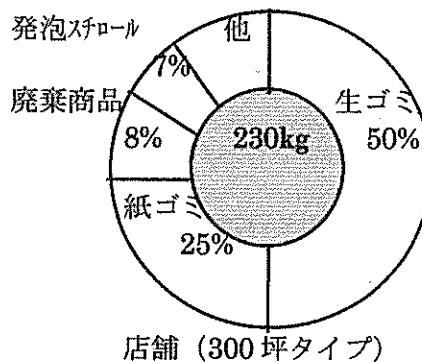
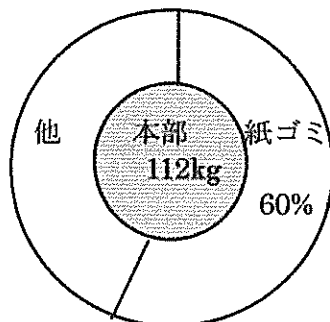
CO ₂ 排出量	CO ₂ 削減量
1,916,788 k g	328,689 k g

2. 事業系廃棄物の削減をすすめました。

>>98年度は、廃棄物の実態把握を目標としました。<<

- ・ならコープの本部・支所・店舗の一日の廃棄物調査を実施し、ならコープの事業による廃棄物の量は年間およそ1,000tと推定できました。
- ・古紙・ダンボール・発泡スチロールのリサイクルをおこないました。
- ・本部、コープセンター、全店舗等の事業所に分別ボックスを設置し、リサイクルルートを確立しました。

ならコープ・事業所の廃棄物の量（1日分）



〔事業系廃棄物リサイクル量〕

	98年度	97年度	前年比
発泡スチロール箱	10,910kg	10,145kg	107%
段ボール	411,970kg	627,140kg	66%
事業所古紙	158,000kg	124,000kg	127%

3. リサイクルの推進を積極的にすすめました。

- >>組合員と共に取り組むリサイクル運動の輪が広がりました。<<
- ・全11店舗で、牛乳パック、空き缶、食品トレー、PETボトル、たまごパックの全品目回収が実現しました。
 - ・ミニステーションが1,122カ所に広がりました。(100カ所増)

リサイクル実績(4~1月まで比較)

回収総量158.7t

	98年度実績	97年度実績	伸長率
牛乳パック	68,760kg	60,710kg	113%
空き缶	44,850kg	37,970kg	118%
食品トレー	5,605kg	2,775kg	201%
PETボトル	27,202kg	11,922kg	228%
卵パック	12,352kg	10,207kg	121%

- ・共同購入カタログのリサイクルについて検討を開始しました。

4. 容器包装の環境対応と削減及び環境商品の普及をおこないました。

- ・ならコープ容器包装ガイドラインを策定しました。
- ・ダイオキシン問題への対応として、塩ビ食品系ラップの供給を全面中止し、代替品の普及に努め、前年比30%増(5000~7000/月)の利用となっています。
- ・マイバック運動では、マイバックの持参率が80%となり、店舗でのスーパーバックの使用量が前年比9.6万枚減(11月現在)となりました。ならコープ全店舗では年間500万枚(同規模程度のスーパーとの比較で)を削減することができました。
- ・環境ホルモンとダイオキシン問題への対応

ならコープPB商品の別素材への代替化が進みました。

	別素材へ代替化
塩ビ系樹脂 28品目	19品目(99年は7品目増)
スチレン樹脂	2品目

5. 物品購入時のグリーン購入を推進しました。

- ・事務用品と文具についての、ならコープ購入ガイドラインを策定しました。
- ・事務用紙の古紙100%、白色70%へ変更(一部保守関連部署除く)、封筒のクラフト紙への変更を予定しています。
- ・16号新店では、PET素材エプロンの使用を予定しています。

6. 環境マネジメント・監査制度の導入をすすめました。

- ・幹部学習会、正規職員学習会、本部パート職員学習会を実施しました。
- ・推進ニュースを月間で発行しています。

[以上は、ならコープ組合員活動室、環境担当福西さんのレポートを、県連でピックアップしてまとめました。]

平和

ユニセフ・平和のひろば「サバイディー ラオス」から

ユニセフを通して私たちができること

<ユニセフ・平和のひろば2月7日コープみみなしにて開催>

ならコープくらしの委員会 平和部会 ラオスと日本

ラオス指定募金

ならコープの組合員のみなさんから寄せられたユニセフ募金は98年度3,794,280円でした。今年もたくさんのご協力をいただきました。この中から100万円を「ラオス指定募金」として、残りの2,794,280円を一般募金として、ユニセフ協会に贈呈しました。ラオスを指定して募金を贈るのは、用途をたどって送り先と交流し、ユニセフの活動をより身近に知ることができるからです。

私たちの募金がどんな国で役立っているのか、ラオスのことを知りたいと思いました。そこで何度もラオスに滞在して、村々の暮らしや豊かな民話の収集・記録をしているという、安井清子さんにお話を聴きました。



ラオスってどんな国？

ラオスはアジアの内陸国で、「アジアの眠り姫」と呼ばれる森の国です。しかし、ベトナム戦争当時に、北爆よりも激しい爆撃を受けて耕作できる平地が荒れたことや、アメリカの介入による反共産主義の内紛があったために、産業が発達できていません。そんな状況で子どもの、特に5歳未満児の死亡率が高く、ユニセフが、「子どもを守るために、まず女性の地位を向上させる」ためのプログラムをラオスの女性連合とともに進めています。実際に暮らしている人々が主体的に参加することを大切にしています。

ラオスと日本を行ったり来たりしはじめた当初、安井さんは「なんでこの人たちは生活できてんのかな」と思ったそうです。ともに暮らしてわかったのは、現金収入がなくても、みんなで助けあう自給自足のくらしがラオスにはまだ息づいているということです。ラオスにいと、生活の何もかもを自分の手でまかなわなければならない、「私は何もできない」と感じるのに、日本にいと何でも誰かが見えないところでやってくれて、便利さに乗っかって生きている感じです。そして命の重みを忘れてしまい、『基本的なしあわせ』が日本では活かされていないのではと安井さんは語ってくださいました。私たちが人として忘れてはいけないものをラオスの人々は大切に守っています。同じアジアの中で、もっと教えあい助けあうことができそうですね。ユニセフを通して、おとなりさん同士、暮らしを守る助けあいがグローバルに広がることを願っています。

国際交流

私の韓国記

ICAアジア太平洋地域フォーラムに参加して

奈良県生活協同組合連合会理事

日生協関西地連ジェンダーフォーラム懇談会代表 仲宗根 迪子

昨年10月下旬に4日間韓国を訪問しました。今回の目的は、ICAアジア太平洋地域に女性委員会が発足し、それを記念した女性フォーラムに参加するため。フォーラムには12か国130人が集まり、日本からは80人（JA・漁連・日生協から53人）という構成で、韓国語・英語・日本語が同時通訳で話し合うという形になりました。（英会話ができないというのはこんな時やっぱりくやしいですね）

パネリストの報告が終わった後、参加者全員で、3日後のICA地域総会にフォーラムとして報告をしようということになりました。言語ごとに分かれ、さらに小グループで現状の問題点・解決するための方法を出し合い、全体で議論し報告文（11ページ）に仕上げました。最終文は事務局と委員長に委任しましたが、言葉の壁があり、たった2～3時間じゃ無理だと思えたことをやり遂げた達成感は壮快でした。

改めて実感したのは、日本もアジア諸国と同じジェンダー問題では後進国という事でした。二つの性が互いを尊重しあい、性にとらわれず個々の能力が活かされ、対等に共同しあえるような社会に早くなってほしいものです。

今回のもう一つの目的は、韓国の生協との交流でした。私は1日早く帰らなければならなかったのですが、韓国女性民友会しか訪問できませんでした。学ぶ事の多い機会でした。韓国の生協の歴史は80年代に始まります。当時は軍事政権下、集会が禁止されていて組合員を増やすのも大変だったようです。87年に民主化宣言がなされ、やっと自由な活動が始まりました。97年現在77生協と中央会、組合員71,000人、事業



民友会倉庫前で

（右から2番目が仲宗根さん）

高38億円、出資金3.6億円、職員340人という規模です。数百人から4千人規模というところでは、

韓国女性民友会は生協というより社団法人の女性運動団体で、活動の一つとして共同購入事業をしています。20坪ほどの倉庫のような事務所はかつて日本の生協もこうしてスタートしたんだなと思わせるものでした。扱う商品も少ないですが安全な食品や農産物、環境に配慮した商品など、こだわりを感じます。新規加入者のためのビデオを見ると、日本をモデルにしているというだけあって、そのまま奈良でも使えそうな内容でした。このほか女性の働く権利を求めた活動や、性暴力のカウンセリング、職業訓練、こどもの環境学校など多彩です。専業主婦を“社会主婦”にすべくエンパワーメントに力を入れています。

韓国は70年代から急速に経済が発展しました。国策として産業育成、都市近代化、貿易自由化がすすめられ、大きな変化と歪みの中で民主化運動と共に生協づくりが生まれてきました。経済が破綻した今、法の保護もなく、規模も基盤も小さい生協にとって厳しい時代です。生協法制定に向けて動き出している（もうできているかもしれな

い) 生協運動が社会に認知され、発展していくことを願わずにはおれません。そう言えばICA女性フォーラムに参加していたのは農協だけでした。

今回の訪韓は実はちょっと気分が重かったのです。日本と韓国の過去の歴史を考えたとき、いい加減な知識と中途半端な罪悪感で行ってもいいだろうかと躊躇しました。高校時代の親友が在日韓国人ですが、改めて考えてみると、私は彼女の母国のことをほとんど知らなかったことに気づいたのです。アメリカやドイツ・イギリスの地図や地名、文化などはいくつも言えるのに、隣国の地名はソウル・板門店・釜山・慶州・濟州島…ぐらい。そう言えば中学や高校で隣国の地理を詳しく習った記憶はありません。まさに『近くて遠い国』です。ガイドさんの観光案内に「植民地時代の…」という但し書きが度々つき、歴史をきっちりこども達に伝えている韓国と、当人たちがなかったことにして(例えば従軍慰安婦問題など)もちろん次世代に教訓として残していない日本の関係を思うと、戦後

50年を過ぎるのにいつまでもわだかまりを残していることを不幸に思います。南北の緊張感は緩んできているといっても(金浦空港の北、車で30分ほどのところ板門店近くにニュータウンが建設されていて今までは考えられなかったそうです)毎月15日に『民防衛の日』があり避難訓練をしています。市内中心部にある大統領府も米軍基地も地図には載っていない、道路は中央分離帯がなく何時でも滑走路になる、厚さ2~3mもあるコンクリートのゲートが郊外には随所があり、戦時には爆破して北の侵入を防ぐなど、韓国のおかれた状況を垣間見ることができました。

わずか4日の旅でしたが、私の心の底にあった鉛の重りが少し軽くなったように思います。韓国の人々との関係は、国と国とではなく市民同志、隣人としての交流がこれからの関係を築いていくのだと思います。

協同組合におけるリーダーシップと 意志決定における女性の参加を向上させるための勧告文

- ICAアジア・太平洋地域レベルで実現してほしいこと
1 ICAアジア・太平洋地域事務局のもつすべての専門委員会で女性の参加を実現すること
- ICAの地域総会開催にあわせ、地域女性フォーラムを開催すること
- ICAの会員組織(全国レベル)で実現してほしいこと
1 【法制度に関して】協同組合法、定款、規則、規程などを見直し、男女間の平等が推進されるように改定すること。
- 2 【協同組合の職員に関して】協同組合の女性の問題や活動に責任をもち、情報の普及に携わる職員をきちんと配置すること。
- 3 【具体的な活動として】組合員、リーダー、職員の男女双方に対し、ジェンダー問題を理解し行動できるようになるような活動を推進すること。
- 4 【具体的な活動として】①リーダーシップ②協同組合原則・協同組合の経理(マネジメント)・その他技術的分野に関する、女性対象の教育・訓練の機会(セミナーやワークショップ・通信教育・交流活動等)を増やすこと。
- 5 【具体的な活動として】1年に1回、全国レベルで女性フォーラムを開催すること。
- 6 【活動基金】協同組合における女性の参加を高めるような活動を支援する活動やプログラムに対して活動資金をふりあてること。

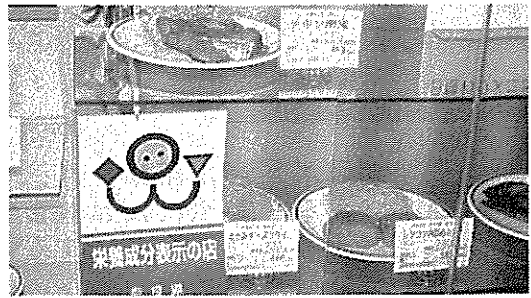
以上

食と健康

学生の健康づくりのお手伝い

奈良教育大生協と奈良女子大生協において、親元を離れて一人で生活する学生みなさんに、少しでもバランスのとれた食事を心がけてもらおうと、食堂の主なメニューに栄養成分の表示を行ないました。

この栄養成分表示制度は、日本栄養士会の委託を受けて、奈良県が奈良県外食栄養成分表示定着促進事業として、1997年9月1日から実施したものです。そして、両生協ではこの事業の趣旨に賛同し、いち早く取り組みました。この制度の導入に当たって、各メニューへの基本表示だけでなく、レジの支払いの際に受け取るレシートにも、注文した食品のカロリー、タンパク源（赤）、野菜・ミネラル類（緑）、熱量源（黄）の合計値を表示し、各自が取った栄養摂取量がすぐにわかるように工夫されています。



各メニューへの表示



教育大生協の昼食風景

奈良教育大学生生活協同組合		
UNIVERSITY CATERING		
食堂部		
電話番号	TEL 0742-25-1405	
99年 3月 1日 (月) 12:18		
1411 NO:02-0849	担:02	
G1 ナツメイコソウ	¥100	
G1 ライム	¥100	
G1 ミョウ	¥20	
小計 3点	¥220	
税5% (¥220)	¥11	
合計	¥231	
プリペイド	706 4000	
赤 0.3	緑 0.4	黄 0.1

レシートへの表示

99年度「食の安全」の取組み

ならコープでは、これまで、「有害物資、不当表示排除」の立場で、不用な食品添加物の排除や使用削減リストの提案、微生物・理化学検査、残留農薬チェック等、検査体制を強化し安心・安全な商品の供給に努めてきました。最近、遺伝子組換え食品や環境ホルモン等、人類がこれまで経験したことのない問題が山積し、消費者の食品の安全に対する不安が高まっています。

このような状況の中、99年度「食の安全」の取組みを以下のように計画しています。

▼ 99年度（下期）計画

- 1、「食品の安全と安心」の普及と合意形成を進める。
 - ・食の安全チームの結成
 - ・コープ商品の利用促進と結び付けた活動
 - ・あすなら塾等の組合員学習と職員の学習活動
 - ・班長会のテーマ設定
- 2、食品衛生法の改正をめざす。
 - ・全国と連携した署名活動
 - ・県議会への要請活動
- 3、食の安全行政の充実を求める。
 - ・県行政の実態把握と他府県との比較
 - ・県行政との話し合い

広がる協同・くらしの輪

ならコープ公開講演会

1月21日、奈良県新公会堂において、C.W.ニコルの講演「森の時間」が開催されました。ニコルさんは、南ウエールズの炭坑町に自然を取戻した話、黒姫での森の生活など自身の体験から、自然破壊の恐ろしさと自然保護の重要性を訴えました。参加者440名は熱心に聞き入っていました。



消費者団体交流プラザ

1月29日、共済会館やまにおいて、県主催の消費者団体交流プラザが15団体と、県から6名の参加で開催され、全国消費生活相談員連絡会の藤井教子理事長の講演会が行われました。その後各団体から活動報告があり、ならコープから吉田理事が報告し交流を深めました。

3.1 ビキニデー

— 第五福竜丸被災45周年 —

2月28日、JR静岡駅前音楽館において、日生協・静岡県生協連主催「99.生協3・1ビキニデー虹のひろば」が開催されました。映像と関係者の証言で3・1ビキニデーをふり返り、また、全国の活動交流等が行われました。3月1日には焼津において、3・1ビキニデー静岡県実行委員会主催「被災45周年1999年3・1ビキニデー」が開催されました。献花墓参行進・墓前祭の後、シーガルドームにおいて集会が行われ、全国から1,700名が参加し、焼津アピールが採択されました。

消費税減税を求める

請願署名と請願活動

国民負担増による消費支出の減少が顕著になる中で、ならコープにおいて消費税減税を求める請願署名が取組まれました。3月3日現在、62,810筆が寄せられ、県内選出国會議員と関西選出参議院議員等に国会要請行動を行ない、辻第一（共産党）・石井一二（自由連合）・島袋宗康（二院クラブ）議員等に紹介議員になっていただきました。



石井一二秘書（自由連合）



島袋宗康議員（二院クラブ）



辻第一議員（日本共産党）

つながる連携・友好の輪

奈良高等専門学校生協

奈良高専生協では4月9日の入学式に向けて、新入生を温かく迎える準備を進めています。最大の企画は、毎年恒例となった、奈良高専学生会と奈良高専生協の共催企画『新入生歓迎パーティー』です。今年は4月10日(土)に行います。

新高専生のため『新しい仲間づくり・新しい学園生活のお手伝い』をしようと、スタッフ同はりきって準備を進めています。当日は、みんなで食事をした後、グループに分かれてのゲーム大会などで交流を深めようと、いろいろな楽しい企画を考えています。この企画が新入生と生協学生委員会の最初の接点になるので、がんばって行きたいと考えています。

(弦川学生委員長)

樟蔭女子短期大学生協

◆はじめて取組む教科書販売◆

樟蔭女子短期大学生協では関係者の皆様のご尽力によって、今年4月より初めて教科書販売に取組むことになりました。昨年末よりカリキュラムの読み込みや情報収集に不備がないように努力してきましたが、なにせ初めての取組みなので、期待半分、不安半分といったところです。(私個人で言えば、樟蔭の新学期は初めてなので、体操服の販売や新入生歓迎の用意もお初です)

3月1日に教科書の発注を済ませ、ようやくほっと一息、あとは4月の販売に向けての準備にもうひとふんばりです。

次号では明るく新学期の取組みの様子が報告出来るように頑張ります。

(増田店長)

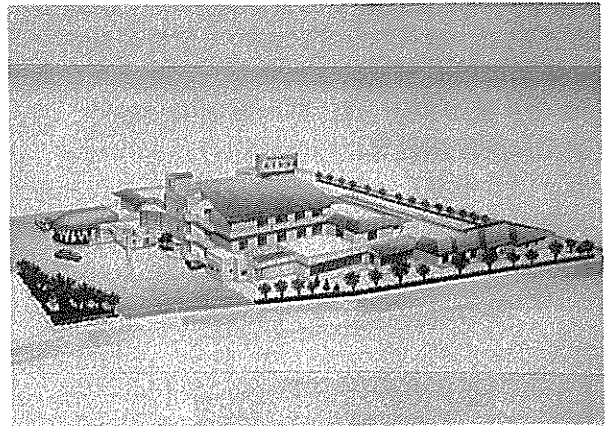
ならコープ

◆25周年にふさわしく

待望の「あすなら苑」建設スタート◆

ならコープ 20周年の時に論議を開始し、4年近くにわたる学習や募金の取組みの結果、特別養護老人ホーム「あすなら苑」の建設工事がスタートしました(近鉄樫原線ファミリー公園前駅の北東側に見えます)。この取組みは、数万人の組合員が参加した「参加型」となり、ならコープのこれまでの歴史と運動と信頼の結果であるといえます。この秋9月には、いよいよ事業が開始されます。3階には地域交流スペースとして集会室が確保され、これからのならコープや地域の福祉活動の拠点としての役割も発揮されると思います。そこでは、介護や福祉の学習やヘルパーなどの講座も行われ、また、入居されている方にも、コンサートなども楽しんでもいただけるよう「ボランティアセンター」も設置される予定です。ご協力いただきました皆様に心からお礼を申し上げますとともに引き続きご協力をお願いいたします。

(新田課長)



労済生協

◆ふれあい・発見・自己啓発の旅◆

「ゆとりの学習旅行」参加者募集中!

全労済の「ゆとりの学習旅行」は“学びと体験”“出会いとふれあい”をテーマにしたツアー。単に行楽や観光を目的とした旅行でなく、全労済としての思いを込めてつくりました。「なにかを学び、新しい知識を蓄積する……。」「人とふれあい、さまざまな文化や歴史にふれる……。」

そんな出会いと体験は、新しい自分と出会うきっかけになるのではないのでしょうか。全労済ではそんな新しい出会いに心ときめく「ゆとりの学習旅行」を実施いたします。

＜詳しい資料のご請求は＞ 全労済近畿地方本部 「ゆとりの学習旅行」係
〒564-0052 吹田市広芝町11-14
Tel. 06-6338-6031
(漆原事業推進2課課長)

歴史と伝統・趣味と手づくり体験

- ①京都・大覚寺「白拍子舞鑑賞と京の伝統工芸を体験する旅」(日帰り)
- ②茅葺き民家と清流の里「京都・美山」……写真撮影教室つき(日帰り)

自然とのふれあい体験

- ①自然・動物とのふれあいと天体観測(京都府綾部・1泊2日)

熊野古道……歴史・文化とウォーキング「南紀熊野体験博」協賛

- ①熊野古道を語り部と歩こう「熊野・本宮と熊野三山」(和歌山県渡瀬・1泊2日)
- ②熊野文化講座「街道を行く・司馬遼太郎歴史講座」(和歌山県古座・1泊2日)

民話と文芸紀行

- ①宮沢賢治ゆかりの地と遠野物語の舞台背景を訪ねて(岩手県花巻・1泊2日)

奈良教育大生協

大学生協は、いよいよ新入生を迎える一番忙しい時期になります。

今年は、受験期から未来の新入生を温かく迎えようと、受験生の宿泊しているホテルに、奈良女子大学生協と合同でテーブルを出して、上級生が受験生の不安に応える「受験何でもコーナー」の取組みを行ないました。センター入試の結果が悪くて入試本番が不安な受験生や、遠く北海道から来て先輩と一緒にご飯を食べに行った余裕の受験生など、いろいろな受験生にふれて、上級生達も大変元気になれた取組みでした。

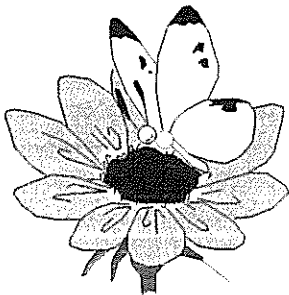
これから合格者に対しての入学手続き時の対応が始まり、いよいよ99年度新学期本番となります。

(疋田専務理事)



県連日誌

- 1/14 第5回理事会
 16 アース基金理事会
 17 食文化研究会幹事会
 29 消費者団体交流プラザ
- 2/2 アースデー実行委員会
 10 第4回事務局会議
 22 近畿府県連協議会
- 3/1 3・1ビキニデー
 4 アースデー実行委員会
 25 近畿府県連協議会
 // 第6回理事会



お知らせ

▼ **アースデープリング in なら'99**
 と き 4月18日(日) 10:00~
 ところ 奈良県第一浄化センター自由広場
 (近鉄橿原線ファミリー公園前駅下車)
 内 容 大和川クリーン行動、川の視察会
 リサイクルマーケットなど
 問い合わせ先 ならコープ組合員活動室
 TEL 0742-34-8735

▼ **第11回奈良県連通常総会**
 と き 5月29日(土) 15:00~
 ところ 猿沢荘

▼ **'99奈良県市民平和行進**
 県内行進 6月26日(土)~30日(水)
 問い合わせ先 奈良県生協連合会
 TEL 0742-34-3535

▼ **奈良吉野魅惑体験フェスティバル**
 と き 5月22日(土)~8月29日(日)
 ところ 下市町、黒滝村、西吉野村、天川村
 野迫川村、大塔村、十津川村
 内 容 森林文化交流イベント
 町村イベント
 問い合わせ先 奈良県企画課地域振興室
 TEL 0742-22-1101(代)

編集後記

▽国民負担増による未曾有の消費不況。緊急景気対策としてせめて消費税を3%にの声を逆手にとって、法人税や高額所得者の税率引下げを中心とした可処分所得格差が益々広がる税制改革。一方、国・地方合わせて六百兆円の大借金。身近には卒業して就職先が決まらない人、倒産等で失業中の人、多くの国民は明日の生活が描けなくなっている。誰のための自由競争? 誰のための税制改革? (俊)

▽地域振興券の配布が始まりました。我が家では子供二人分の金額。どこから聞いて来るのか、子供達はおこずかいがもらえるらしいと、ゲームソフトを物色中。これは父親の支払った税金の一部だぞと言いつつ気がゆるみ、つい余計な消費もしそうです。(鈴)

▽先日、春の嵐のどしゃぶりの中、昼食兼取材(?)で教育大学生協の食堂を訪ねました。当日は入学手続きの日とあって、空模様とは対照的に満面笑みの新入生親子の姿が。どうか四年後、二世紀の初頭のその頃には、「平成不況」とか「就職難」とかは死語となり、もちろん地域振興券は、二十世紀の博物館入りしていて、皆が明るい希望を持って次ぎのスタート台に立てる、そんな世の中になってますように。(信)

奈良県生活協同組合連合会

〒630-8136 奈良市恋の窪 1-2-2 ならコープ氣付

TEL 0742-34-3535 FAX 0742-34-0043